授業科目	障害児保育					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	3	開講時期	通年
担当教員	山根　正夫						
授業概要	実務家教員として、障害児施設での経験を踏まえて、障害のある子どもの保育（保育所・専門機関・家庭での）についての基本的な歴史や理念の変化、その発達、障害の状態に応じた保育・療育の在り方、他の専門機関・職との連携、保護者・家族の支援について、演習を通じて理解し実践的な技術を学ぶを目標に授業を展開する。 く。						
授業形態	講義及び演習				授業方法		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1　障害児保育を支える理念や歴史的変遷について学び、障害児及びその保育について理解する。 2　個々の特性や心身の発達等に応じた援助や配慮について理解する。 3　障害児やその他の特別な配慮を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について理解する。 4　障害児やその他の特別な配慮を要する子どもの家庭への支援や関係機関との連携･協働について理解する。 5　障害児やその他の特別な配慮を要する子どもの保育に関する現状と課題について理解する。 障害児についての理解と教授・援助・援護に必要な基本的な内容を理解している。
理想的レベル	標準的なレベルに加えて、障害児保育・療育を提供しているそれぞれの機関における支援の全体像を理解し、個々に応じた支援が展開できる基本的な準備が出来ている。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	50%	
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物	20%	
その他	30%	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	WE21623J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
テキスト関連部分を読み内容を予習し，課題について整理しておく。	1

授業計画

第1回	オリエンテーション ―障害児保育の今日的な基本的枠組み
第2回	障害児保育を支える理念 ―障害の概念と現代における障害児保育の理念
第3回	知的障害児の理解と支援 ―知的障害の定義、発達的特性と支援の方法
第4回	肢体不自由児・重症心身障害児・医療的ケア児の理解と支援 ―各々の障害の状態、その支援の方法
第5回	視覚障害児・聴覚障害児の理解と支援 ―各々の障害の状態、その支援の在り方
第6回	言語障害・場面緘黙のある子どもの理解と支援
第7回	発達障害児の理解と支援１ ―自閉スペクトラム障害について
第8回	発達障害児の理解と支援２ ―学習障害・注意欠如多動性障害について
第9回	生活上の課題を抱える家庭の子どもの理解と支援
第10回	子ども同士の関わりと育ち合いと子どもを見る視点 ―障害児と定型発達児の関係性の中から
第11回	個別の支援計画の策定 ―障害児保育における計画：アセスメント・プランニング・インターベンション・モニタリング・エバリュエーションのシステムについて
第12回	障害のある子どもと家族の支援 ―障害のある子どもの保護者・家族の支援について
第13回	障害児支援の制度と職員間・地域資源・関係機関との連携・協働
第14回	小学校等との連携
第15回	特別な配慮を必要とする子どもの保育に関わる現状と課題
第16回	子どもの行動と発達援助１ ―子どもの発達と応用行動分析
第17回	子どもの行動と発達援助２ ―子どもの発達と応用行動分析
第18回	子どもの行動と発達援助３ ―子どもも発達と応用行動分析
第19回	子どもの発達と行動分析４ ―子どもの行動問題

第 20 回	インターベンション(介入法）１ ―個別教授法・ポーテージプログラム
第 21 回	インターベンション（介入法）２ ―社会的行動とソーシャルスキルトレーニング
第 22 回	インターベンション(介入法）３ ―コミュニケーション・インリアルアプローチ
第 23 回	インターベンション(介入法）４ ー自閉症スペクトラムと介入プログラムの実際：ティーチプログラム
第 24 回	インターベンション（介入法）５ ー活動に根差した介入１
第 25 回	インターベンション（介入法）6 ―活動に根差した介入２
第 26 回	インタベンション（介入法）７ ―活動に根差した介入３
第 27 回	インターベンション（介入法）８ ―活動に根差した介入４
第 28 回	インターベンション(介入法）９ ―活動に根差した介入５
第 29 回	インターベンション（介入法）10 ー活動に根差した介入６
第 30 回	障害児やその他の特別な配慮を要する子どもの保育についてのまとめ
テキスト	松本峰雄監修　(2021)　障害児保育ハンドブック　ミネルバ書房 七木田敦・山根正夫監訳　(2011)　子どものニーズに応じた保育　二瓶社
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	上記テキストは学習ノート作成に必要です。その他必要な文献などは授業で紹介します。必要に応じて資料を配布します。
課題に対するフィードバックの方法	ノート作成及びレポートについては、確認の上コメントを付して返却します。
学生へのメッセー	定型発達についての予備知識が必要です。 授業以外に、テキストの各章を熟読し、予め準備して授業に参加ること。 テキストに応じた授業ノートの作成及びレポートが課せられます。

ジ・コメント	